

燃料「導入、できるだけ前倒し」

研究初期のグッドマン換気口



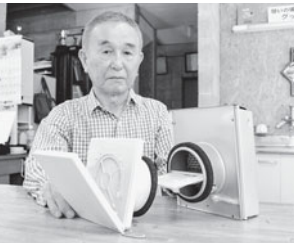
グッドマンが住宅局長賞

部屋の温度差など利用 パッシブ換気システム

日本建築材料協会の優良製品・技術表彰2023で、グッドマン(本社札幌)の「グッドマン換気口」が国土交通省住宅局長に選ばれた。部屋の温度差や風圧などの作用を利用するパッシブ換気システム。12年に北国の省エネ・新エネ受賞、13年にコプロダクト大賞審査員長特別賞、17年に発明協会会長賞を受賞して、中小企業にも発明や製開発のトップランナーとして確固たる地位を確立した。

日本建築材料協会の優良製品・技術表彰2023

優良製品・技術表彰は、建築材料や住宅設備の優れた製品・技術を社会に発信し、業界全体の発展と向上に寄与することを目的とした制度。日本で唯一、経済産業省・国土交通省が認めた建築材料や住宅設備をたえる賞として位置づけられている。住宅局長賞には、グッドマン換気口は、空気の自然な流れを利用するパッシブ換気システムの一種。室内と室外側の各換気口をつなぐパイプ内部を板で上下に仕切り、上から暖かい空気が逃げ、下から冷気が入ってくることで、排気と給気の両方ができる。その



グッドマン換気口を説明する斉藤社長

大谷善敬と知り合い、開発に弾みが付いた。佐々木教授は、国内外の学会に論文を発表したり、通気性や防風雨性の性能実験を北方建築総合研究所でも実施するなどグッドマン換気口の開発を手弁当でサポート。21年に他界した。斉藤社長は、30年余りの付き合いがあった。グッドマンを、俺の猪突と同じだと支持してくれたと振り返る。

様子から「呼吸する換気口」の愛称を持つ。高気密の建物に有効な換気。室内側に配置するファン、開口部を調整することで、快適な自然風を四季を通じて得られ、冬はダンパー部で室内外の空気が混じり合い、冷気が降下する「ダウンドラフト」を防ぐ。シックハウス対策には、機械換気と併せて第一種機械換気、いわゆる「バリエトリッド換気」を提案する。長期不仕立や停電

時でも給排気を同時得られる上、機械騒音を抑えられるので快適な居室空間の維持と省エネを両立する。栗店を経営していた頃、店内に充滿するといったのが気にになり、住宅雑誌を読みあさって換気口を研究するようになり、斎藤武夫社長、知人の紹介で大学教授と接点をもち、省エネ住宅を研究していた北海道建築訓練短期大学の佐々木隆教授(当時、後に岩手県立

のウハウを生かす、安は、ススキと製造協に全て高品質の機体製造を実現する。

データ取込から穴開まで実践

中

中国

銀行

活動

が、消費

不安でい

下げ効

り、世

なりが

回復

人民

は、事

当てる

年物

の基

ずれ

易網